

新たな入札・契約方式の試行実施について

<段階選抜方式>

阪神高速道路株式会社では、『公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律』及び『公共工事の品質確保の促進に関する法律』を踏まえ、発注工事の内容に応じた入札契約方式を適用しているところですが、この度、新たな入札・契約方式の「段階選抜方式」を、10月31日公告の下記工事において試行適用しました。

入札・契約方式

○段階選抜方式（技術提案・交渉方式（設計交渉・施工タイプ）と併用）

入札・契約方式の概要

○競争参加希望者の中から、競争参加資格を有し、かつ一定の技術評価点（工事毎に設定）を有する複数者を選抜し、各者の設計業務成果を踏まえ、工事契約の交渉相手方となる優先交渉権者を選定します。

入札・契約方式の目的

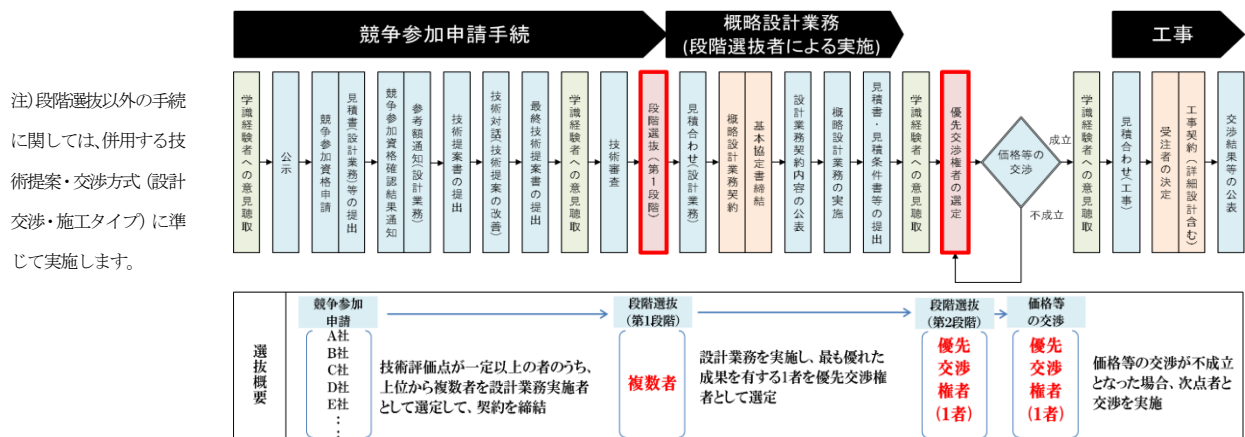
- 事業早期段階（設計初期段階）から、施工者による技術及びノウハウを導入することで、より高い品質の確保やコスト削減を図ります。また、効率的・効果的かつ確実な事業（工事）の進捗を図ります。
- 難易度の高い又は前例のない事業（工事）等を対象に、工事受注に向けて、技術力競争性を有した実施設計を行うことから、受発注者双方の技術力の向上・研鑽を図ることができます。
- 競争参加希望者は、適切な費用負担の基で工事特性を考慮した技術検討及び提案を実施でき、また、自らが保有する技術力及びノウハウを適切に技術評価へ反映させることができます。

試行適用工事名

○喜連瓜破橋大規模更新工事

段階選抜方式手続き等（概要）

- ① 競争参加申請者のうち、一定の技術評価点を有する者の上位から複数者を段階選抜者として選抜します。（段階選抜（第1段階））
- ② 段階選抜者（複数者）とそれぞれ設計業務契約を締結し、併せて段階選抜の実施と優先交渉権者の選定等に関する基本協定書を締結します。
- ③ 段階選抜者の設計業務成果を総合的に評価し、最も優れた成果を有する1者を優先交渉権者として選定し、工事契約に向けた価格等の交渉を行います。（段階選抜（第2段階））
- ④ 価格等の交渉が成立した場合には、優先交渉権者と工事契約を締結します。なお、交渉不成立となった場合には、段階選抜者の次点者を新たな優先交渉権者として価格等の交渉を行います。



詳細については、試行適用工事の公示及び同説明書等をご覧ください。

本試行を踏まえ、今後も工事特性等を考慮の上、当該契約方式を適用した工事調達を行っていく予定です。

[入札公告掲載場所] : 阪神高速企業情報サイト (入札契約情報) URL: <https://www.hanshin-exp.co.jp/company/nyusatsu/>

[問い合わせ先] : 工事内容及び申請手続き等＝公示及び同説明書に記載の部署をご参照下さい
入札・契約方式等＝技術部技術管理課